



ENGINEER® の MPDP ダイアリー



高崎 充弘

第39回 ネジザウルスZ (ゼータ) の誕生

[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

今回は4月に完成したシリーズ6代目となる「ネジザウルスZ」(品番:PZ-60)を紹介します。2009年に完成してシリーズ最大のヒット商品となった4代目「GT」は、本稿でもおなじみかと思えます。「GT」の成功要因から、それまでの3シリーズとの比較によって、帰納的に導き出されたのがMPDP理論です。そしてこの理論を活用・実践することで、「鉄腕ハサミGT」や「ムッシュ・マグニ」「精密圧着工具」などを開発してきました。さらに、2014年にはネジザウルスの5代目「RX」が誕生し、理論自体も「MPDP 2.0」へと進化し続けています。

今般、「RX」から2年の時を経て「Z(ゼータ)」が完成しました。「Z」の出発点は、「奥まったネジを外したい」「ラジオペンチのような先細タイプが欲しい」という愛用者カードに書かれたユーザーの声でした。

営業マンからも展示会や店頭販売などで同様のニーズが報告されていました。10年前の当社であれば、先端にタテ溝を設けただけの「ラジペン型ネジザウルス」として商品化していたかもしれません。しかし、「GT」「RX」に続く、いわば「新生ネジザウルスの3作目」は、開発当初から徹底してMPDPにこだわり、単なる先細のネジザウルスではなく、従来のラジオペンチの構造的な欠点を解消する画期的な新製品として完成させました。

まず、ネジザウルスシリーズ共通の特徴であるタテ溝ですが、「Z」では小ネジから中サイズのネジに対応できる上下M型の先端形状(通称:マク歯)を考案しました。これが「多対一マーケティング」(2015年6月号)における6:3:1のメイン・ベネフィットです。

次に、サブ・ベネフィットが「RX」で開発したヨコ溝の「ギア歯」です。従来のラジオペンチは先端で掴む機能とカッターで切断する機能の二者択一を迫られていましたが、「Z」は「ギア歯」の効果によって両機能を兼ね備えており、機能面の斬新さではメインを凌ぐサブライズがあるのではないかと期待しています。

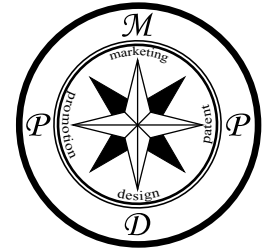
さらに、アクセント・ベネフィットとして軽量化と装着性を向上させた「T型グリップ」を採用することにより、マーケティング&パテントのプロセスをMPDP2.0に基づいて推進しました。

「Z」はグッドデザイン賞をはじめ、「iF Design Award」など、世界のデザイン賞にも挑戦していく予定です。また、ネジザウルスが6種類、皿ネジや六角穴付き用のバズーカが2種類と商品アイテムが増えています。

プロモーションでは、それぞれの特徴を整理し、お客さまへの分かりやすい提示が重要だと考えています。

「ネジザウルス」の変遷





銀：しゃ、社長はん、今日は「銀色のエンジニア」のことを皆さんにお知らせしたいんやけど……。

ウ：いきなり何や思たら、自慢話かい！ 日経スペシャル「夢職人」（2016年2月放送）であらい舞さんが歌わはったアンタが主人公のテーマ曲のことやな。

銀：そ、その歌がe研究所に電話かけてくれはったら、保留の時に聴けまんねん。

ウ：そなん聴くために誰が電話するかいな！

高：もし、何かのご用事でお電話をいただいた際は、銀ちゃんの歌を聴いていただければ（*^^*）

※2016年4月より、当社の電話の保留音が「銀色のエンジニア」に♪

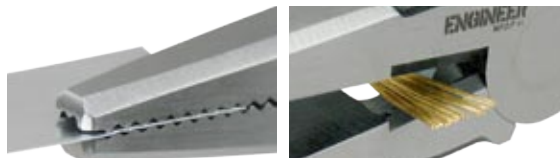
ウ：先月号までは時事トピックスがテーマでしたな。

高：3月号と5月号のマーケティング・ミックスとデザイン思考は、これまで同じ土俵で論じられることがなかったが、MPDPに投影してみると相違点と共通点が浮き彫りになり、それぞれが理解しやすくなったのではないかと思う。

ウ：4月号は職務発明制度の改正がテーマやったけど、中小企業においてMPDPの必要条件としてパテントを位置づけることの大切さがよう分かりました。

高：MPDP理論が発展し、さまざまな分野で評価され、中小企業の活性化に役立てればうれしい限りだよ。

「掴む」と「切る」の両者を実現



銀：さて、今回は久しぶりの新製品開発ストーリーでんな！ しかもネジザウルスの6代目「Z」。

ウ：社長はん、「Z」の名前の由来はなんですか？

銀：エッヘン！ オッホン！！

ウ：なんや、わざとらしいせき払いしてからに（-_-）

高：銀次郎くんのネーミングが採用されたんだよ。

銀：ヴッヘン、ゴヴォ・ゴヴォ。グルジィ……（@_@）

ウ：もう、ええて。確か「RX」はガンダム初号機の「RX-78」からきてて、恐竜的進化を遂げたモビルスーツが大型の「RX」のイメージにピッタリやったんやな。

銀：今回の「Z」は、シリーズ6代目やからギリシャ文字 α 、 β 、 γ ……の6番目のZ（ゼータ）やねん。

ウ：それだけちゃうやろ～ 別の意味もありそうやな！

銀：さすがウルスくん、ぜ～んぶお見通しやね！ 実は、「機動戦士Zガンダム」ちゅうのがあってな、ここからもきてんねん（*^^*）

高：「GT」は「George Tokoro」さんをレスpektして私がつけたんだが、「RX」と「Z」はグリップをデザインした銀次郎くんのガンダムへの想いが表れたね。

ウ：社長はん、もう一つ気になってるんが、タテ溝先端の「マク歯」ちゅう名前ですんねん。

高：「ボケ文殊」の最中、有名ハンバーガー・チェーンのロゴに似ていると誰かが言い出して……（*^^*）

ウ：社長はん、「GT」「RX」「Z」は新生ネジザウルスの3兄弟ですけど、昔も3兄妹ありましたな～。

銀：3代目までは大きいネジ用の「XP」、小さいネジ用の「m2」というサイズありきの展開でしたな。

高：「XP」は左右の合わせ方法を意匠登録し、「m2」は静電対策を施したり、それなりに工夫はしていたが、今にして思えば中途半端だったし、MPDPが全部そろっていなかったね。

ウ・銀：これからはMPDP理論全開で、ネジザウルス・ワールドがますます広がりそうでんな！（^_^）